

マレーシア留学 報告書

生物生命学部 応用微生物工学科 4年 今井愛弓

1. はじめに

この報告書では、私の留学経験について詳細に述べます。まず、留学の目的と背景について説明します。私が留学を決意した理由は、異なる文化や教育システムの中で自分自身を成長させ、グローバルな視野を広げるためです。まず、留学先の大学では、私の専攻に関連する講義や研究が豊富に提供されています。これにより、専門知識を英語で学ぶとともに、異なる視点からのアプローチを学ぶことができました。また、異文化交流を通じて多様な価値観や考え方に触れることも重要な目的の一つです。これにより、コミュニケーション能力の向上や多文化理解が進み、国際的な環境での対応力を養うことができました。さらに、留学を通じて自立心や問題解決能力を高めることもできました。異国の地での生活は、日常の中で様々な挑戦に直面することになりましたが、これらを乗り越えることで自己成長を遂げることができたと考えています。

2. 留学先の紹介

留学先の大学や国、留学期間について説明します。留学先は、ペトロナス工科大学 (Universiti Teknologi PETRONAS) で、令和5年の8月から令和6年の4月まで約8ヶ月間留学しました。ペトロナス工科大学は、マレーシアのペラ州に位置し、ここは教育の中心地として知られています。地理的には、首都クアラルンプールから車で約3時間の距離に位置しています。この地域に位置し、特に工学と技術の分野で優れた教育を提供しています。とても広いキャンパスと最先端の施設が整っており、学生にとって理想的な学習環境が提供されています。文化的な背景として、マレーシアは、多文化社会の象徴です。マレー系、インド系、中華系の人々が共存しており、これが地域全体に多様性と豊かさをもたらしています。地元の祭りや伝統行事に参加することで、マレーシアの豊かな文化を体験することができました。

3. 学業に関する報告

留学中に受講した講義や科目について詳細に報告します。成績や学んだ内容、教授とのやり取りなども記載します。8ヶ月の留学期間で Analytical Chemistry(分析化学)と Chemical Engineering Fluid Mechanics(流体力学)と Data Analytics(データ分析)と industrial effluent engineering(産業排水工学)の4つの講義を履修しました。分析化学と産業排水工学の講義の成績はCで、単位が取得できました。しかし、流体力学とデータ分析の講義は単位が取得できませんでした。単位が取得できなかった理由として、科目選びのミスと英語力不足が挙げられます。データ分析に関して、基礎知識がない私にとって、初めてのものを英語で学

ぶにはとても難しすぎました。履修登録する前にどういう内容を学習するのかをもっと確認すべきだったと反省しています。また、流体力学に関して、この科目は単純に勉強不足だったと感じています。試験が帰国する直前に行われたので、現地の友達と思い出作りをしたり、マレーシアを堪能することに意識が行ってしまい、試験勉強が疎かになってしまいました。ちょっとやそっと試験対策で単位が取れるような簡単な試験ではないということを痛感しました。以上が、留学中に受講した4つの授業についての詳細な報告です。どの授業も非常に充実しており、貴重な学びの機会となりました。また、どの担当の先生も熱心に丁寧に指導してくださいました。とても感謝しています。

4. 日常生活

現地では大学の寮に滞在し、現地の学生と共に講義を受けていました。日本に興味を持った学生が多く、積極的に話しかけてくれたので、すぐに友達ができ、留学中の様々なことを手伝ってもらいました。マレーシアの学生は、アルバイトはしておらず、授業後も友達数人で集まって勉強したり、テスト前には過去問を解いたりと日本の大学生以上に勉学に力を入れている印象を持ちました。また、スーパーでは日本の商品が数多く販売されていたり、日本の映画やアニメが人気だったりと親日のイメージを受けました。

5. 留学を通じて学んだこと

留学を通じて得た知識やスキル、自己成長について記載します。文化的な理解や価値観の変化についても述べます。現地の友達と喋ることで多様な価値観に触れることができるとともに、英語や中国語といった多言語を学ぶことができます。例えば、日本は宗教を信仰している人は少ないですが、マレーシアではイスラム教徒が多く、イスラム教徒の考え方に触れることができます。そして、友達を作ることで分からないところを質問したり、一緒に遊ぶことができました。また、多方面における慣れていないシステム、何を尋ねるにも英語を喋らなくてはならない環境に身を置くことは強いメンタルが鍛えられます。実体験として、留学前よりも遅くなったと自覚しています。このように、留学することでしか得られない経験を積むことができ本当に行って良かったと思っています。

6. 結論

留学の総括として、留学の成果や今後の目標についてまとめます。また、これから留学を考えている学生へのアドバイスも含めます。留学の成果として、英語力の向上はもちろんのこと、精神的にも成長し、幅広い視野を持つことができました。今後はこの経験を活かし、大学院進学後、国際的な共同研究や企業で活躍できる人材になりたいと考えております。これから留学を考えている学生へのアドバイスとして、とにかく頼れる人は全員頼ったらいと思います。私自身、出国前は休学せずに留学するという事で、卒業単位や留学費について不安がありましたが、多くの先生方や学校がサポートしてくださったおかげで、有意義

な留学生活を送ることができました。とても感謝しているのと同時にいろいろな人に相談して、アドバイスを受けられたことが良かった点だと実感しています。留学について、興味や不安なことがある人はぜひ国際交流センターに相談してみてください。

これで、留学報告は以上になります。